

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
令和7年度業務実績評価に係る評価委員会の意見について

- 1 令和7年度における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）の業務の状況は、「優れた業務の進捗状況にある」と認められる。評価の決定に際しては、次の点について留意されたい。
 - ・ 基盤研究においては、多数のテーマを実施し、学会等からも多くの評価を受けるなど、優れた成果につながっており、評価できる。今後も、様々な研究を効果的に推進することで、多くの秀でた知的財産を蓄積するとともに、中小企業やスタートアップへの支援の充実強化につなげることを期待する。
 - ・ 航空機産業など、障壁の高い成長産業分野への参入を目指す中小企業への支援において優れた実績を上げている。また、DX分野における中小企業との共同研究については、開発された先駆的な製品が複数の受賞を受けるなど、実績を上げており、大いに評価できる。中小企業の生産性向上や人手不足の解消に寄与できるよう、AI技術等を活用したIoTやロボット技術の社会実装を促進し、社会に還元されることを期待する。
 - ・ 技術セミナーや講習会を、多様な手法で実施するとともに、オンデマンド配信におけるオンライン決済を導入するなど、受講者の利用と利便性の向上につなげている。今後もオンデマンド配信のより一層の充実など、中小企業のニーズに応じた様々な取組を積極的に展開し、中小企業の産業人材育成に寄与することを望む。
- 2 第五期中期目標における事業展開に向けては、法人が次の取組を推進することを期待する。
 - ・ 技術相談におけるチャットボット導入や機器利用予約システム等、業務のDX化などを積極的に展開している。DX化やAI活用等の取組をさらに進めることで、利用者の利便性向上、ニーズに沿った支援や業務運営の効率化につなげることを望む。
 - ・ 中小企業のニーズに寄り添い、より良い支援を提供するためには、サービスを提供しているという意識を高めるとともに、職員の人材育成により組織として更なる力を発揮することを望む。